

## 「発刊にあたって」

社会福祉法人 かがわ総合リハビリテーション事業団

前理事長 今井 正信

五年前（平成 18 年 4 月）かがわ総合リハビリテーションセンターに赴任した時から、この事業団の存在とその役割に対する評価について、県民が期待する事業団の在り方とセンター内部における職員達の意識との間で大きな隔たりがあるのを感じました。

個々の職員は、日常の勤務と専門的な役割においてはよく勉強もし、見事に熱心に勤め、至極まじめな態度で障害者に対していても拘らず、お互いに自分だけの目先の満足が出来る仕事の権利と権限に対する評価のみを大切にしており、香川県民が何をセンターに求めているか、センターが県民の為に何が出来るのかはあまり考えていないように思えました。実力ある個人其々が、皆でチームを組んで効果的に仕事し合える殿堂を創造するという大きい使命を忘れているかに思われました。

お互いが心を一にし、皆でこのセンターをどんな職場にしようとしているのか、そんなことを職員間の討議でなされることが必要ではないか。お互いがどんなことをして、どんな効果を挙げて居るのかを知り合うことがどうしても必要なのではないかと考えました。

今取り組んでいる仕事を皆で理解し合い、学問的にもより良い方向を討議し、次年度までの仕事の方針を討議しあう場があればよいのではないか。そんな場としてのセンター雑誌が必要と思いました。

県民の皆に、この雑誌がこの事業団の実力評価に少しでも役立てばよいと思っています。そんな雑誌になれば幸いであり、この創刊号から更に良い、皆の雑誌になることを期待しています。

最後に、巻頭言をお願いした岡山大学医学部整形外科教授の尾崎先生と困難な創刊号の編集の労を引き受けてくれた編集委員の皆さんに敬意と感謝の念を送り発刊の言葉とします。